

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉

—支援と絆—



僕たちは世界を変えることができない。
But, we wanna build a school in Cambodia.

(C) 2011「僕たち」フィルムパートナーズ

第15回上映会

2012年 **5月12日** [土] 13:30~16:30 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料

定員 450名 入場整理券を10:00から講堂入口にて配布します。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

2011年/日本映画/日本語・クメール語/126分

監督/深作健太 出演/向井理 松坂桃李 柄本佑 窪田正孝

司会 鈴木 紀 (国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 佐藤 寛 (アジア経済研究所 国際交流・研修室長)

秋保さやか (筑波大学 人文社会科学研究科・大学院生)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる＜包摂と自律＞ —支援と絆—

国立民族学博物館では、2009年秋から開始した機関研究＜包摂と自律の人間学＞のテーマにあわせて、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。第4期は＜支援と絆＞をキーワードに映画上映を展開していきます。今回は、日本映画「僕たちは世界を変えることができない。But, we wanna build a school in Cambodia.」を上映します。日本の若者たちがカンボジアでの学校建設支援に向けて取り組む姿を通して、支援とは何かを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

第15回上映会

2012年5月12日(土) 13:30～16:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

僕たちは世界を変えることができない。 But, we wanna build a school in Cambodia.

2011年/日本映画/日本語・クメール語/126分

監督/深作健太 出演/向井理 松坂桃李 柄本佑 窪田正孝

司会 鈴木 紀(国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 佐藤 寛(アジア経済研究所 国際交流・研修室長)

秋保さやか(筑波大学 人文社会科学研究所・大学院生)

映画解説

ひょんなことから、カンボジアに学校を建設するためのボランティアに携わるようになった、医大生・葉田甲太のノンフィクションの映画化。漠然とした日常に新たな生きがい求めて、資金集めのチャリティイベントを開催したり、現地視察の旅で過酷な実状に打ちのめされたりする中で、徐々に芽生える責任感や使命感を拠り所に奮闘する今時の大学生を、向井理ら現在の日本映画界を担う若手俳優陣が、伸びやかに好演している。現在もなお、HIVに苦しむカンボジアの人々への偏見をなくしたいとの思いで手掛けたドキュメンタリーを各地で上映するなど、ゴールなき支援活動に取り組む葉田氏。そんな彼の実感ももるタイトルから、それでも、行動することが世界を変える小さな一歩につながるというポジティブなメッセージが浮かび上がる、爽快な佳篇だ。(服部香穂里)

開発の舞台としてのカンボジア

カンボジアは、1970年代から約20年に渡る内戦を経験した。そして、1991年パリ和平協定が締結され、国連の支援による1993年選挙実施以降、大量の開発援助が国内に流入するようになった。その後、政治的安定化が進み、国家政策も「復興」から「開発」へと変わっていった。内戦終結から20年が経とうとしている現在もなお、カンボジアを支援のために訪れる個人、団体が後を絶たない。

この「僕たちは世界を変えることが出来ない」でも描かれているような教育支援も多く行われ、農村を歩けば、あちこちで日本・諸外国の支援で建てられた学校を目にする。以前、日本の支援で建てられ、支援者の名が壁に刻まれた学校を指さし、村人が「韓国人の支援によって建てられた」と説明してくれた。異国の地に、学校を建て、そこに名を刻む日本人と支援者の国籍はあまり気にとめず、それを利用するカンボジアの人々。本作品の日本人の若者とカンボジア人の関係も同様、支援者-被支援者という単純な図式では捉えきれず、「誰のための支援なのか?」という問いを孕んでいるように思える。(秋保さやか)



(C)2011「僕たち」フィルムパートナーズ

「包摂と自律の人間学 —支援と絆—」

国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授 鈴木 紀
包摂とは、自分では解決できない困難を抱えている人に対して、他の人や社会全体が支援の手をさしのべることを意味します。自律とは、支援を受けた人が少しずつ自信をつけ、やがて自分でその問題に向きあえるようになることを意味します。このように包摂と自律を実現するためには、支援という行為が鍵になります。それでは、よい支援とはどのようなのでしょうか。それは支援する人と支援を受ける人との間に信頼感が生まれ、相互に強い絆を意識するような場合ではないでしょうか。もとより、おごりな支援からは絆は生まれませんが、過剰な支援も絆を支配従属関係に変えてしまう危険性があります。そのためよりよい支援のためには、なぜ、どのくらい、いつまで、誰に支援するか／誰から支援を受けるかが問われることになります。支援と絆をめぐるこうした問題を、映画を通して考えましょう。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」は大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

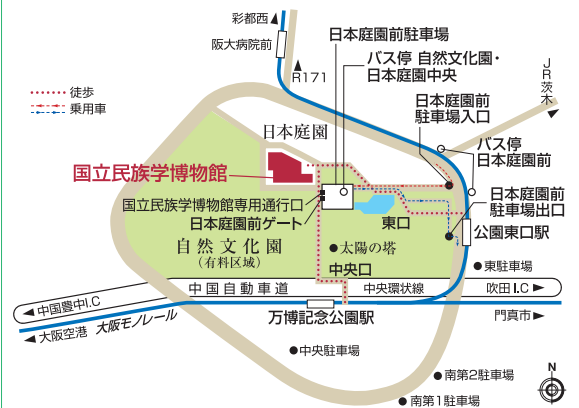
●自動車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL.06-6878-8210(土日祝を除く9:00～17:00)
<http://www.minpaku.ac.jp/>



次回予告

第16回上映会
2012年7月14日(土)
13:30～16:30

路上のソリスト THE SOLOIST

2009年/アメリカ映画/英語

117分/日本語字幕付き

監督/ジョー・ライト

出演/ジェイミー・フォックス

ロバート・ダウニーJr.

